

学科名		学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 情報処理システム科		2	デジタルビジネスマネジメント	
授業の種類		授業担当者	実務経験	
☒ 講義 ☐ 演習 ☒ 実習		山邊 安則	☒ 有 ☐ 無	
[実務経験歴]				
約10年間、本学および他の専門学校にて音楽制作の講師を務める。 その後、飲食店の経営や不動産業で宅地建物取引士に従事。 現在、飲食店の経営指導や電子書籍出版をおこなっている。				
単位数（授業の回数）		時間数☒	配当時期	必修・選択
1 単位 （ 15 回 ）		30 時間	☐ 前期 ☒ 後期 ☐ 通年	☐ 必修 ☒ 選択
[授業の目的・ねらい]				
企業分析や自己分析などに活用できる手法を学ぶことで、客観的な視点から自分自身や組織の強み・弱みを把握し、より適切な意思決定やキャリア設計につなげることを目的とします。また、論理的思考力や分析力の養成を通じて、ビジネス環境における課題発見・解決能力の向上も目指します。				
[授業全体の内容の概要]				
本授業では、企業分析および自己分析に活用できる各種手法を体系的に学びます。SWOT分析、PEST分析、3C分析などのフレームワークを用いて、実際の企業事例をもとに分析力を養うと同時に、自己理解を深めるワークにも取り組みます。これらを通じて、将来の進路選択や就職活動、キャリアデザインに活かせる実践的な力を身につけることを目的とします。学生は授業内でのディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを通じて、多角的かつ論理的に物事を考える力を高				
[授業終了時の達成課題(到達目標)]				
多角的かつ論理的に物事を考える力の習得				
[準備学習の具体的な内容]				
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。				
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]		
使用テキスト なし 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。		
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
1回	中間発表の振り返り☒自己評価と目標再設定			
2回	キャリア理論の基礎☒スーパー、ホランド等			
3回	将来設計と目標設定 ☒年後・10年後のビジョン			
4回	業界・企業研究の手法☒情報収集のコツと注意点			
5回	応募書類の書き方①（履歴書）☒書き方とマナー指導			

6回	応募書類の書き方②（ES） ☒ 自己分析とのつなげ方
7回	面接対策（基礎） ☒ 面接官の視点と質問意図
8回	模擬面接① ☒ 別フィードバック
9回	模擬面接② ☒ グループ面接形式
10回	企業研究プレゼン準備① ☒ グループ分けとテーマ選定
11回	企業研究プレゼン準備② ☒ 資料作成とリハーサル
12回	最終プレゼン① ☒ 前半グループ発表
13回	最終プレゼン② ☒ 後半グループ発表
14回	成果の振り返りと今後 ☒ ポートフォリオ作成
15回	総括とフィードバック ☒ 授業アンケート・講評